

加賀海岸国有林の現状



上空から見た加賀海岸国有林等の
海岸林（写真－１）



加賀海岸国有林の林内の様子
（写真－２）

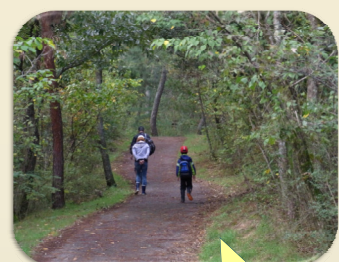
現在の加賀海岸国有林は、松を主林木とする海岸林となっています（写真－１、２）。
林内には、小鳥のさえずりが聞こえ、ノウサギやキツネの糞も発見することができます。
また、秋になると林床からアマタケをはじめとするキノコが顔を出し、その採取は地元住民の楽しみ
になっています（キノコは、期間を設け地元で販売）（写真－３）。
前丘から海岸にかけては様々な海浜植物が見られ、初夏から秋にかけて美しい花々を見ることが
できます（写真－４）。
また、海岸林の背後には住宅地や農地が広がり、工場や高速道路が建設されるなど、地域振興
に重要な役割を果たしています（写真－５）。

このような成果が評価され、林野庁が治山事業を実施して100年が経過したことを機に、全国で
60箇所選定した「後世に伝えるべき治山」の中に、砂嵐の脅威から地域を保全した「加賀海岸国有
林 海岸防災林造成事業」が選ばれました（平成25年10月公表）。

住宅、農地、工場、高速道路を保全している
加賀海岸国有林等の海岸林（写真－５）



キノコ狩りの様子
（写真－３）



キノコ狩りに
行く親子

ハマゴウ



前丘に生育する海浜植物
（写真－４）

ハマベノギク



アナマスミレ



ネコノシタ



ハマボウフウ



ハマヒルガオ

